

2011 年

1 月 15 日（土曜日） 若い英知と感性で未来の産業発展の可能性を耕す - 「起業アイデアコンペティション最終審査会」 -

本日、「京丹後市起業アイデアコンペティション最終審査会」が京都工芸繊維大学の関係者の皆さんのご尽力をいただき、京都工芸繊維大学の皆さんをはじめ、今年から初めて、京都産業大学、京都ノートルダム女子大学、府立大学、府立医科大学の総勢 5 大学の皆さんが参加をいただいて、地元の産業界の関係者の皆さんとともにますます盛会に開催をいただくことができ、心から感謝をしています。

本市には、世界ジオパークに認定されるような海山の自然環境、古代からの歴史資産、ものづくり・織物などの伝統産業、温泉や全国第一級の農林水産資源など、これからの時代が求める健康や環境や伝統などの宝の原石がふんだんにありますが、このプロジェクトは、学生の皆さんのもつ若い英知と感性、新鮮な発想、成長するエネルギーでもって宝の原石を発見して磨き上げていただいたり、土壌を開拓していただくことで、本市のまちや産業の発展と学業充実とともに役立てていく目的で、平成 19 年から大学と共同で毎年実施をしているものです。

これまでの成果の中から既に二つが商品化され、今も更に二つが商品化に向けての作業が進行中という、素晴らしい事業の効果を生みつつあり、そんな中で、今年から、①京都工芸繊維大学に加えて、上記の 4 大学が加わり、より広く英知を結集する形ができた、②本市産業の礎を築いていただいた本市名誉市民・錦織米市翁のご生前の素志が人づくりや企業育成にあられたことを背景に錦織米市翁顕彰会の皆さんが本コンペに参画いただき、最優秀の「錦織賞」を創設していただいた、など、このプロジェクトがますます発展している状況をととても有為に心強く感じています。

この事業は、まさに地元の産業界の皆さんと京都の各大学の若い優れた学生の皆さんとが力を合わせて協働して、まちのエンキューバーとしてまちの可能性を拓き、将来の発展を創っていただいているわけで、単なるコンペにとどまらず、まちづくりの貴重なモデルとなっていると感じています。

学生の皆さんには、市況を知るためオリエンテーションに 2 回来ていただいたり、企画づくりに真剣な知恵と工夫の努力と汗を重ねていただいたりしており、そのことは、単に成果としてのタネを発表いただくだけでなく、その過程で、タネをまく土壌を耕したり、草取りをしていただいたりしているということであり、成果をいただく以上に、その過程を通じ本市産業の将来の発展にとって必要な土壌づくりをしていただいているのだと感じています。

学生の皆さんが若い成長のエネルギーで耕し植えていただいた土壌とタネから素晴らしい発展の芽吹きが育っていきますよう、今後とも、地元をあげて力を尽くしてい

たいと思います。皆さん、本当にありがとう。